

# 福生三中だより

令和7年10月31日発行 No.6

## 學校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

## 「日々の積み重ね」

校長 増木一仁

10月23日に市民会館大ホールをお借りして第41回音楽会を開催しました。当日は多くの方々に足をお運びいただき誠にありがとうございました。満席のステージで、生徒もいつも以上に頑張ることができたのではないかと思います。

今年のスローガンは「音を紡いで 心を繋ぐ」。一人一人が音を大切にして、心や思いを繋ぐことで心地の良い素敵なメロディや音が出るという意味が込めました。

1年生、練習が始まった当初は、戸惑いがある生徒も多かったと思いますが、徐々に練習に身が入るようになり、本番では一人一人が一生懸命歌い、多くの生徒が満足した表情でステージから自分の席に戻っていました。

2年生、取組当初はスローペースだったものの、後半の練習では熱が入り、学年合唱では1年間の成長を示す上級生としての合唱を聴かせてくれました。来年は最上級生として、学年、クラスともに下級生を圧倒する合唱を披露してくれることを期待しています。

3年生、練習当初から熱の入った取り組み姿勢で、本番では学年合唱から下級生を圧倒する合唱を披露してくれました。また各クラスの合唱も、どのクラスも甲乙つけがたい気持ちのこもった、まとまりのある合唱を魅せてくれました。三中の顔としての3年生の力を見せてくれました。これは一朝一夕に身につくものではありません。1年生の時から積み重ねてきた成果です。3年生は、これから進路決定の本格的な動きの段階に入りますが、自信をもって臨んでほしいと思います。

2010年の甲子園で沖縄・興南高校野球部を春夏連覇に導いた我喜屋優監督は、こう語っています。「小さな積み重ねをおろそかにする者に、大きな仕事はできない」

この言葉は、日々の努力の尊さを教えてくれます。目立たないこと、地道なこと、時には面倒に感じることもあるかもしれません。しかし、そうした一つひとつの積み重ねが、やがて大きな成果へつながっていくのです。また、我喜屋監督はこうも語っています。「睡眠をきちんととって、朝から体を動かして、ご飯をしっかり食べる。五感を常によく使っていれば、いざというときの判断力、第六感まで働くものです。」

学びも、生活も、そして人との関わりも、すべては日々の積み重ねの中にあります。

これから冬に向かい、寒さが厳しくなる季節ですが、心は温かく、前向きに過ごしていきましょう。（裏面省略）